

館山駅・富浦I.C. から赤山地下壕ご案内



入 場 料

	個 人	団 体 (20 名以上)
一 般	200円	150円
小中高生	100円	50円

※団体の方は事前予約をお願いします。

開壕時間 午前9時30分から午後4時
(受付は午後3時30分まで)

休 壕 日 毎月第3火曜日及び12/29～1/3

※荒天・選挙等により臨時休壕することがありますのでHPをご確認ください。また、トイレの個数が少ないので、団体の方は済ませてからお越しください。
※ガイドは民間の団体が有料で行っています。

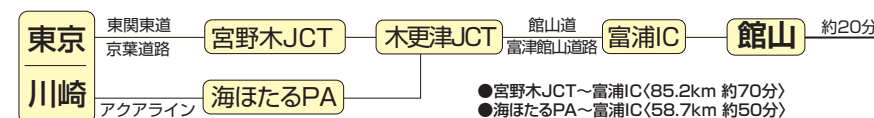
<https://www.city.tateyama.chiba.jp/syougaiaku/page001892.html>

場所: 館山市宮城192-2

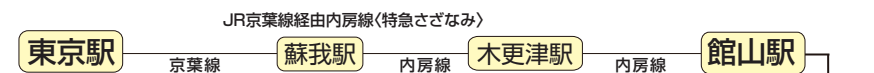


交通のご案内

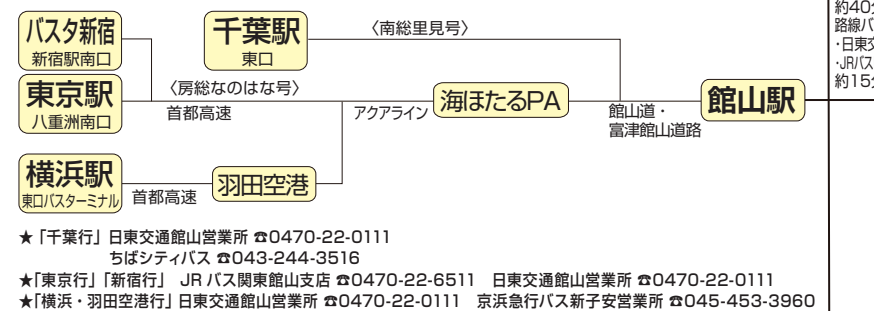
● お車



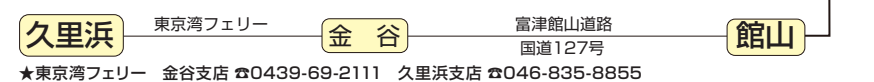
● JR



● 高速バス



● フェリー



●お問い合わせ

予約について 豊津ホール
〒294-0033 千葉県館山市宮城192-2 TEL・FAX.0470-24-1911

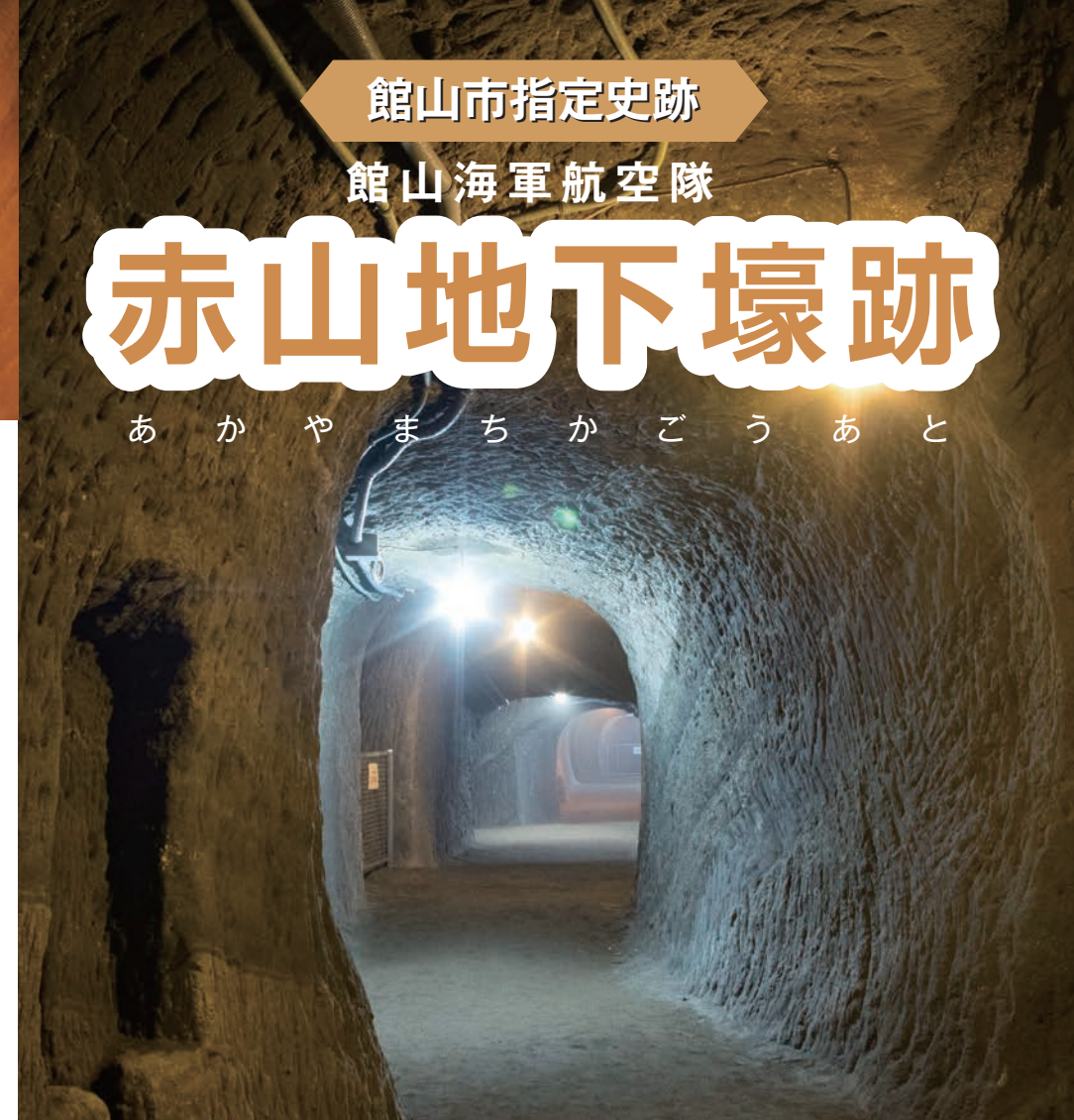
予約以外の問合せ 館山市教育委員会 生涯学習課
〒294-0045 千葉県館山市北条740-1 TEL.0470-22-3698

館山市指定史跡

館山海軍航空隊

赤山地下壕跡

あ か や ま ち か ご う あ と



赤山地下壕跡へようこそ！

今から地下壕への探検がはじまります！

注 意 事 項

- ①ヘルメットを必ず着用してください。
- ②危険物等を持ち込まないでください。
- ③飲食、喫煙、火器の使用は禁止です。
- ④足元に気を付けて見学してください。
- ⑤施設は大事に扱ってください。
- ⑥他の人の迷惑にならないようにしてください。
- ⑦非常時は係員の指示に従ってすみやかに避難してください。
- ⑧小学生以下の方には、付き添いが必要です。
- ⑨見学コースでない場所へは立ち入らないでください。
- ⑩管理上支障があると認められる方の入壕をお断りする場合があります。



ご入壕の皆様へ

この施設は、たいへん貴重な歴史遺産です。
ルールを守って、後世に伝えていきましょう。

たて やま かい ぐん こう ぐう たい あか やま ち か ごう あと

館山海軍航空隊赤山地下壕跡

あか やま ち か ごう あと ごうけい なが やく ぜんにくてき み

赤山地下壕跡は、合計した長さが約 1.6 kmと、全国的に見ても大きな壕で、館山市を代表する戦争遺跡のひとつです。

いつ 頃 つく ら れ た の ？

いま ちやう じ けん かく てき ぼうくうごう

今のところ赤山地下壕に関する資料がほとんどないため、はっきりしたことはわかりません。しかし、このように大きな地下壕が 1941 (昭和 16) 年の太平洋戦争の前につくられた例はなく、当時の軍部が本格的に防空壕をつくりはじめたのは、1942 (昭和 17) 年より後であることが、他地域の壕の建設時期からわかります。

また、全国各地につくられた大きな地下壕の壕と壕の間の長さは、一般的



には 10 ～ 20m以上 (長野市松代大本宮予定地の象山地下壕は 25m) であるとされていますが、この赤山地下壕は 5 ～ 10mと狭い上、平面図をみても、計画的に掘られたとは考えにくい構造です。

昭和 10 年代のはじめに建設がはじまったという証言もありますが、1944(昭和 19) 年以降に、館山海軍航空隊の兵隊によって、掘りはじめられたという複数の証言があります。

どのように使われたの？

アメリカ軍の空襲が激しくなった太平洋戦争の終わりの頃、この赤山地下壕の一部が館山海軍航空隊の防空壕として使われていたことは、壕内にある発電所跡や、終戦間際に、この壕

たて やま し な い おち

館山市内の主な戦争遺跡

幕末 (江戸時代の終わり) から太平洋戦争が終った昭和 20 (1945) 年まで、東京湾の入口にある館山は、国の中心である東京 (江戸) を守るための重要な場所でした。

そのため、戦争遺跡が数多く残っています。

とうきようわんようさい

1. 東京湾要塞

日本の近代化がはじまった明治時代。当時の政府にとって、外国の軍艦の侵入から首都東京を守ることが、重要なことでした。そのため、当時の陸軍は、東京湾岸にたくさんの砲台を築きます。こうして東京湾要塞が完成

2. 館山海軍航空隊

第 1 次世界大戦 (1914 年～ 1919 年) では、飛行機などの、それまでの戦争にはなかった機械が、兵器として使われました。

そして、1930 (昭和 5) 年、海軍 5 番目の実戦航空部隊として、館山海軍航空隊が作られました。それから、1945 (昭和 20) 年の終戦までの間、館山市香から沼にかけての一带には、

えんたいごう

3. 掩体壕

館山海軍航空隊・洲ノ埼海軍航空隊の航空格納庫としてつくられた施設

たて やま かい ぐん ほうじゆつがっこう ずの さき かい ぐん こうくう たい

4. 館山海軍砲術学校・洲ノ埼海軍航空隊

館山海軍砲術学校は、1941 (昭和 16) 年 6 月、陸上における対空射撃や陸戦隊関係の戦術を教育する機関として今の館山市佐野に開校されました。

洲ノ埼海軍航空隊は 1943 (昭和 18) 年に、館山海軍航空隊に隣接する館山市笠名から大貫にかけての一带に開隊されました。実戦航空隊である

館山海軍航空隊に対して、こちらは航空兵器整備のための航空隊で、射爆・無線・写真・光学・魚雷・電探などの課程が置かれていました。

このように館山には、陸軍・海軍の施設のほか、2 つの教育機関がありました。さまざまな種類の軍事施設があった場所は、日本の中でも例が少ないといわれています。

わし

じりき はつ でん し ょ ところ

① 自力発電所跡

この一角は、壁面がコンクリートで補強され、コンクリートの土台や、床面の鉄筋が残っています。発電所があったところで、昭和 20 年 2 月に、航空隊の正門前の変電所から移転して使用されていたということです。4 気筒 200 馬力のディーゼルエンジンが 2 台、発電機 2 台、変圧器 9 個があったそうです。

⑦ このクボミは？ その 3

この部屋はガランとよばれていたという証言があります。尉官・佐官クラスの士官たちの部屋だったようです。奥の四角く切った大きなクボミは御真影を安置した奉安殿で、松の板張りだったそうです。空襲のときには航空隊から御真影を移したということです。

⑥ 戦後の赤山地下壕跡

終戦後は「忘れられた存在」になっていましたが、温度が年中一定なことから昭和 30 年前後頃より、キノコ栽培に使われていました。国内の他の戦争遺跡にも、戦後しばらくキノコ栽培に使われた地下壕跡があります。この風呂やボイラー、コンクリートブロックなどは、そのときに設置されたものです。

⑤ 応急治療所跡

このあたりに病院施設があったという証言があります。金属の 2 段ベッドがあり、軽傷者が治療対象だったようです。被弾した兵士も治療をうけていたそうですが、重傷者は横須賀海軍病院で治療を受けていたということです。

赤山地下壕跡の内部

